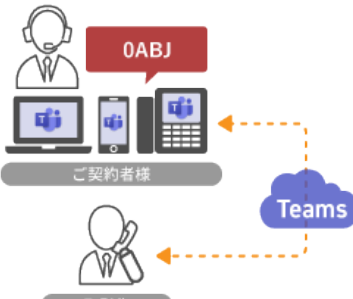


Microsoft Teams 電話システム導入サービス

エクシオグループでは、Microsoft Teams 電話を「クラウド外線モデル」と「オンプレ外線モデル」のハイブリッドで提供することでコスト削減に寄与します。

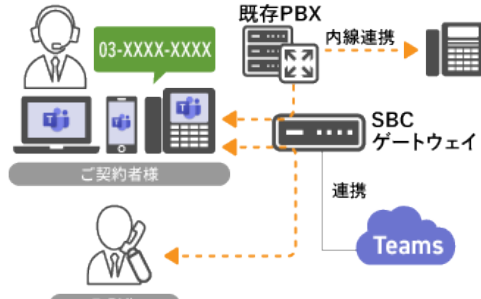
01 初期コストをかせずに導入したいお客様「クラウド外線モデル」

固定電話番号(0ABJ)で発信(※)
(※)番号ポータビリティで現在ご利用の会社番号をご利用いただくことも可能です

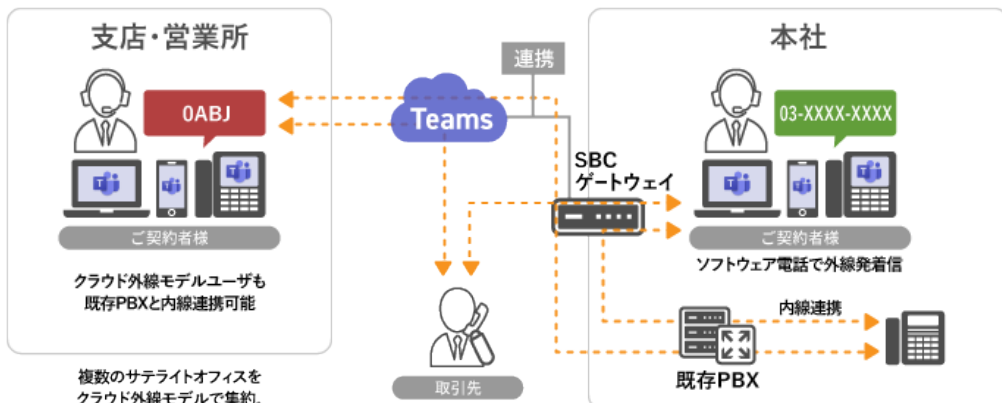


02 内線電話連携が可能。従来の電話を利用したいお客様「オンプレ外線モデル」

現在ご利用の会社番号で発信



03 従来の電話を残しつつコスパよく導入したいお客様「ハイブリッドモデル」



課題解決

Teams 電話で“外線電話”の課題を解決！

これまでの固定電話	Teams電話
大代表番号のための電話番出社 大代表番号にかかってくる外線電話のために、リモートワーク中なのに輪番で電話番出社…。	リモートワークでも会社の外線電話を受信可能 Teams アプリで会社にかかるすべての電話の受信が可能になるため、電話番のために出社する必要がなくなります。
部門代表番号への着信取次が大きな負担 部門代表番号への着信取次に時間を取られ、自分の本来業務が手につかず生産性が上がらない…。	Teams 電話で直接本人へダイヤルイン着信 Teams電話に一人1番号のダイヤルイン番号を付与すれば、電話の取次にかかる手間がなくなります。
個人の携帯電話を仕事で使用したくない 業務用携帯は支給されていない。でもリモートワークで個人携帯から顧客や取引先に電話するのは、ちょっと…。	プライバシーを守って外線電話をかけられる Teamsアプリから会社の番号で電話をかけられるため、個人の携帯番号などプライバシーを守ることができます。

Teams 電話で“電話管理”の課題を解決！

これまでの固定電話	Teams電話
組織改編のたびに電話設備の設定変更が面倒 組織が変わるたびに発生する PBXや代表組みの再設定。工事の手配や煩雑な管理は、もううんざり…。	リモートワークの状況によりユーザー自身が柔軟に設定 Teams電話はユーザー自身で設定ができるため、電話設備の設定工事や煩雑な管理は必要ありません。
オフィスの模様替で固定電話機の再設置が大変 オフィスの模様替で固定電話の再設置に時間がかかり、レイアウト変更作業がなかなか進まない…。	社内スペースのフリーアドレス化を推進 Teams電話導入で固定電話は不要に。社内スペースは効率の良いフリーアドレス化を推進できます。
個人携帯電話の業務利用面倒な通信費精算 業務用携帯が支給されず、仕方なく個人の携帯で仕事の電話。毎月の通信費の精算がとても面倒…。	Teams 電話は会社へ請求、個人精算は不要 Teams電話での通話料は会社へ請求されるため、通信費の個人精算は必要ありません。

Teams電話とは？

チャットやTV会議ができるTeamsアプリで、社外とは固定電話のように、社内とは内線電話のように利用することができます。PCやスマホから、いつでもどこでも、“外線電話”が可能になります。

社内では内線電話として

取引先とは固定電話として

外出先ではスマートフォンで

テレワーク中の社員に取次も簡単

Teams電話の主な機能

基本発信	各種転送
・外線発信 ・番号通知 ・履歴、電話帳	・取次転送 ・不在/無応答転送 ・ログアウト時の転送 ・ボイスメール
代表着信	その他
・通話グループ ・コールキュー ・代理応答	・自動応答 ・コールキュー ・コールパーク ・代理発信 etc…

※ Microsoft、マイクロソフト、Office 365、Microsoft Teams、その他のマイクロソフト製品およびサービスは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

※ その他の社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

※ PSTN: Public Switched Telephone Networks (公衆交換電話網)

※ Direct Routing: この機能を利用することで、Microsoft Teamsを使っている環境からいつでもどこでも、外線電話の発信(03-や、090-や、080-や、0120-で始まる電話番号との通話)を行うことができます。

※ PBX: Private Branch eXchange (公開交換機)

導入メリット

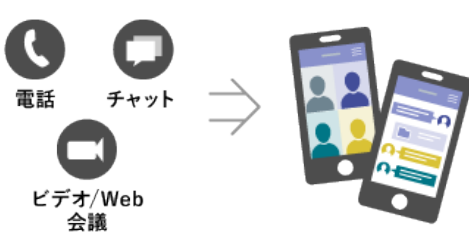
■ 複数デバイスから最適デバイスへ

電話を受けるために3台保持していたデバイスを1台



■ 企業内コミュニケーションを Teams に統一

企業内で行うすべてのコミュニケーションをシングルインターフェースで実現



■ 常に最新の機能を利用可能

クラウドサービスなので常に最新の機能、インターフェースを利用可能



■ ハードウェア撤廃・老朽化対策不要

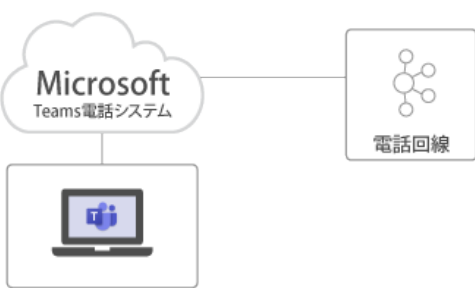
クラウドサービスなので、固定費を削減し、効率的な資産管理を実現



導入モデル

01

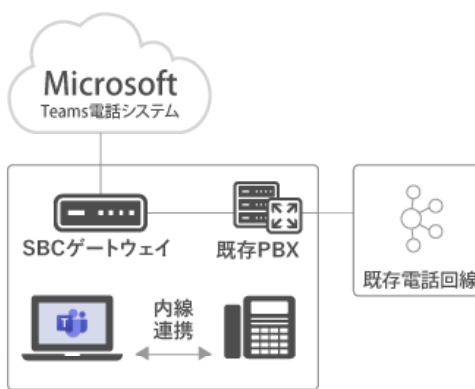
初期コストをかけずに導入したいお客様
「クラウド外線モデル」



フルクラウドのTeams電話を構築可能
初期コストをかけず導入可能

02

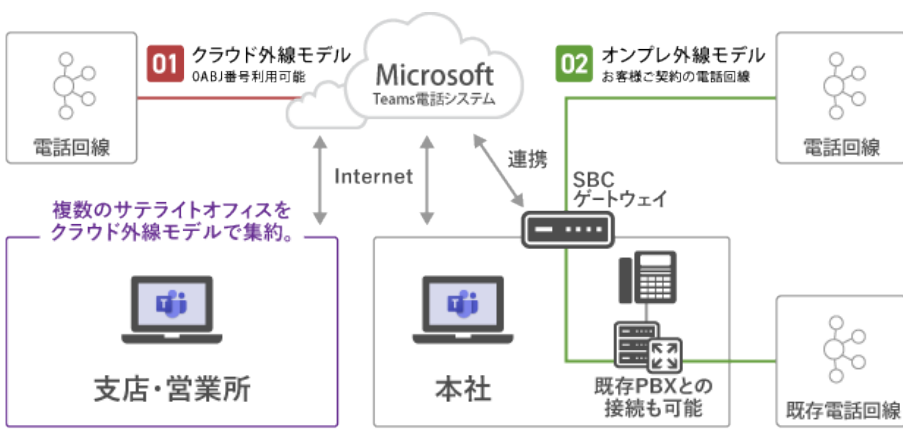
内線電話連携が可能。従来の電話を利用したいお客様
「オンプレ外線モデル」



SBCを設置して内線連携を実現
従来の電話を残しつつ移行可能

03

従来の電話を残しつつコストよく移行したいお客様
「ハイブリッドモデル」

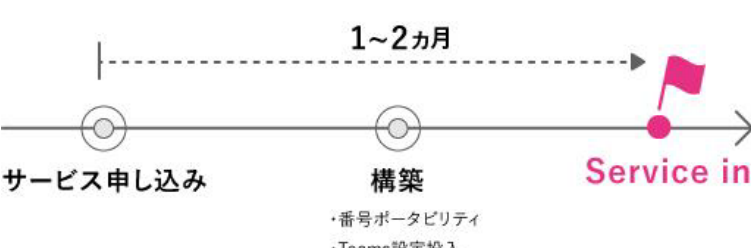


比較項目	クラウド外線モデル	オンプレ外線モデル	ハイブリッドモデル
初期コスト	○ サービス初期費用のみ	×	○ 拠点規模に応じて コストメリットが出る モデルをご提案
ランニングコスト	△ サービス利用料が 継続してかかる	○ 保守費のみで利用可能	
導入の容易さ	○ サービス申し込みのみで 利用可能	△ NW準備や SBC設置作業が必要	△ NW準備や SBC設定作業が必要
保守の容易さ	○ フルクラウドのため 保守不要	△ オンプレ機器の保守が必要	△ オンプレ外線モデル拠点は 保守が必要
内線連携	×	○ 既存PBX内線との 連携が可能	○
既存電話運用の継続	×	○ 多機能電話、FAXなど、 既存設備を継続利用可能、 高品質通話の確保	○

導入スケジュールと費用

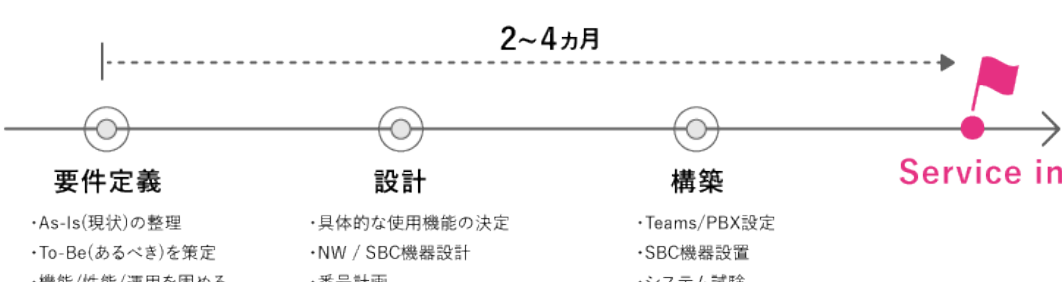
01「クラウド外線モデル」

百万円～
※ Microsoftライセンスのほか、電話システムライセンスが別途必要です
※ 別途、キャリア提供のTeams電話サービスのご契約が必要になります



02「オンプレ外線モデル」

2.5百万円～
※ Microsoftライセンスのほか、電話システムライセンスが別途必要です



03「ハイブリッドモデル」

※ お問い合わせより別途ご相談ください

※ Microsoft、マイクロソフト、Office 365、Microsoft Teams、その他のマイクロソフト製品およびサービスは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
※ その他の社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。
※ PSTN: Public Switched Telephone Networks (公衆交換電話網)
※ Direct Routing: この機器を利用することで、Microsoft Teams を使っている環境からいつでもどこでも、外線電話の発信信 (03-や、090-や、080-や、0120-で始まる電話番号との通話) を行うことができます。
※ PBX: Private Branch eXchange (公開交換機)